



令和7年度
子ども発達支援センター通信
ひまわり Ⅱ 65-5967
たんぽぽ Ⅱ 82-3116

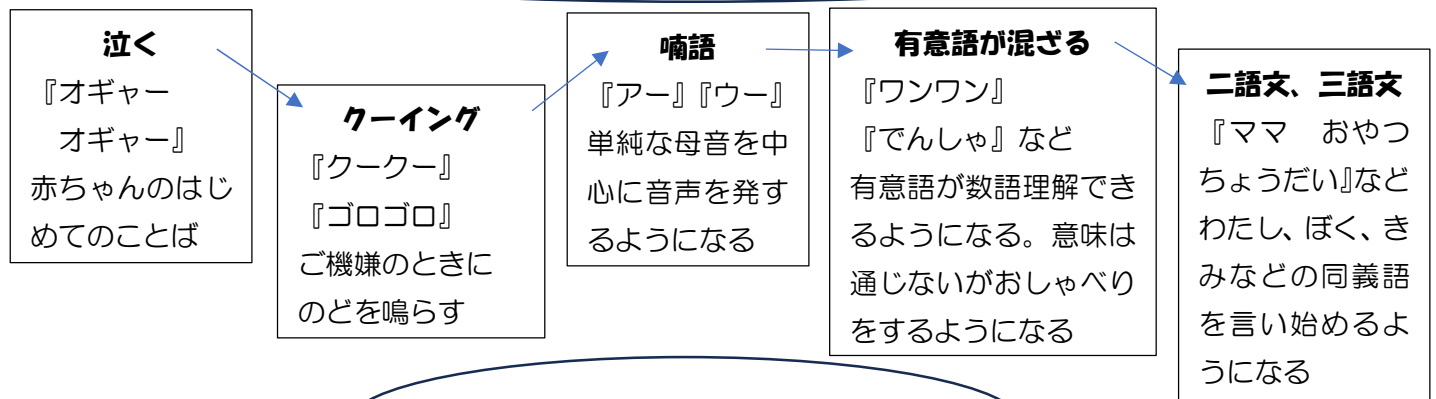
今年度も残り3か月となりました。今年、就学や進学を迎えるお子様は、途切れのない支援を行えるよう、学校と連携をとっていきたいと思います。今後も子ども発達支援センターの活動に、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

『言葉の遅れが気になる…』『言葉の発達について知りたい…』 そんな事はありませんか？

今回のテーマ 「ことばの発達について」

○ことばの発達と個人差○

ことばの発達は段階的に進んでいきますが、発達スピードは個人差がとても大きいです



○言葉を発しやすい環境をつくる○

- ① **反応する** 子どもからの発信を上手に受け止めよう。子どもからの働きかけにきちんとこたえる。
- ② **体験させる** 外遊びの機会を増やす。感覚や運動機能の発達には体を使った遊びが効果的。
- ③ **笑い声を増やす** 楽しい遊びを一緒にする。ことばの発達には、他者とのコミュニケーション能力が必要です。もっとも身近な親と一緒に楽しい経験を積み重ねると、人との関わり方を身に付けることができるようになります。
- ④ **睡眠と食事** 生活リズムを整える。心身の発達には睡眠と食事が重要です。とくに子どもは眠っている間に脳や神経のネットワークが発達します。
- ⑤ **共感する** 子どもの気持ちによりそう。子どもの発したことばを繰り返したり、肯定したり共感することで子どもは安定し、信頼関係を築けます。言い間違いを指摘したり、言い直させたりするのはやめましょう。
- ⑥ **強い刺激から守る** 家族仲良く協力しあう。大声や怒鳴り声、ケンカなどの強い刺激は子どもの脳の発育に影響します。夫婦ゲンカや暴言、大声で子どもを怒鳴りつけるのはNGです。

◎保護者の方がすべきサポートは、子どもと心を通わせ、笑顔を増やす環境を作り、コミュニケーションへの興味を引き出す働きかけを続けることがなによりも大切です。

ことばの遅れが気になるなら 古荘純一監修より抜粋